

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280



教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

教師の指導が子どもを変える

学校教育課 加藤 剛

私は、中学生から高校生にかけて人前で話をするのが苦手であった。

高校一年生の五月頃、そのことに気付いた英語教師が、授業中に突然「私が加藤に自信をもって話ができるようにする。授業では毎回、加藤に音読をさせるから、皆も協力しろ。」と言った。あまりにも突然のことに、私はひどく驚いた。

それまでの私は、仲間と会話することや大勢の前で話をするのを避けていた。また、将来に対しても不安で、人と話さずにすむ仕事は無いかと考えていた。しかし、この教師の発言によって、否が応でも自分の話し方に向き合わなくてはならなくなった。

それから、私の学級の英語科の授業は、私の小声での途切れ途切

れの音読から始まることとなった。音読の得意な子が読めば、二分で終わるところを、私が読むために四分も五分もかかる訳である。しかし、この教師は一切妥協せず、必ず授業開始時の音読には私を指名した。級友は、こんな私を馬鹿にせず、私の下手な音読に付き合ってくれた。私も頑張る努力しないと級友の勉強に支障が出ると思い、家に帰ると、毎日、小学生に戻ったかのように音読練習を続けた。

この教師の指導と、級友の我慢によって、二年生に進級する頃にはそれなりに人前で話ができるようになっていた。

このような方法で私は人前で話すことへの苦手意識を克服することができたが、現在は専門的研究が進み、言語通級指導教室などにおいて、よりよい指導が受けられるようになっていく。

私が教師の道を選んだのは、この教師によって、私が人前でも臆せずに話せるようになり、将来に希望が持てるようになったように、教師の指導次第で、子どもをよりよく変容させられると考えたからである。

教師の仕事は、抱える課題が増え、以前よりも難しくなってきたように思う。しかし、子どもの将来を担う素晴らしい仕事であることは変わらない。教壇に立つ者は、日々子どもの成長を楽しみにしながら、指導を行っていただきたい。



(C) 80

学級で簡単にできます！ソーシャルスキルトレーニング

～実は日常の学校生活の中で、行われているのです～

ソーシャルスキルとは、「社会生活や対人関係を営んでいくために必要とされる技能」です。学級集団にはさまざまな子どもがいるため、ソーシャルスキルを学び合うのに最適な場だと言われています。

学級でソーシャルスキルトレーニングを行うのに、大がかりな準備は不要です。指導者が、子どもに身に付けさせたいスキルを意識するだけで、教室で毎日のように行われている事が、トレーニングにつながっていきます。

指導の場面で



列でプリントを配布するとき

「はいどうぞ」と、座っている列の後ろの子にプリントを渡します。「ありがとう」「どういたしまして」と会話が続き、気持ちよくプリントを受け渡すことができます。

**聞くスキル・相手を見るスキル
コミュニケーションスキル**

体育での次の人への合図

跳び箱を跳んだあと、次の人に合図をします。相手の顔を見て手を挙げることで、「どうぞ」と気持ちを伝えられます。

**相手を見るスキル
コミュニケーションスキル**

当番活動・委員会活動

互いに力を合わせることは、仕事を効率よくすることに繋がります。協力して仕事をするための話し合いも行われていきます。

**協力するスキル
上手に話し合うスキル**

廊下歩行(移動)

教室移動の時に「今はどんな時かな?」「距離をとって歩きましょう」など声をかけることにより、指示に従うことや周りの状況を見て行動することが学べます。

**見るスキル
周りの状況に合わせるスキル**

特別活動「お楽しみ会をしよう」

なかまと計画を立てたり、決まったことを一緒に実行したりするためには、たくさんのスキルが必要です。

**協力するスキル
気持ちを切り替えるスキル
上手に話し合うスキル**

遊びの場面で



「へびじゃんけん」

自分のチームを意識すること、自分が負けても、チームの次の友だちに「負け」を伝えることで挽回のチャンスがあることを学びます。

ルールを守るスキル

相手を見るスキル

気持ちを切り替えるスキル

「手つなぎおに」

鬼役は、手をつないで逃げるので、相手のことを気に掛けて、走ります。3人でつないでいるときは、さらに気遣って。いつの間にか、相手に合わせて動くことができます。

見るスキル

相手に合わせるスキル

「だるまさんがころんだ」

「だるまさんが、ころんだ！」と、声をかけながら、遊びます。相手の声を聞く、相手を見る、指示に従う事を遊びの中で経験できます。

聞くスキル・相手を見るスキル

指示に従うスキル



どうすれば、身につくようになるの？

大切なのはフィードバック(※)をすることです。

※行動を振り返り、ほめたり修正を求めたりすること。

- 🐦 子どもの様子を見て、**その場で**子どもの気持ちに沿った声かけを。
- 🐦 **具体的に**何がよかったのかを伝える。
- 🐦 「だめじゃない」「またやったの？」と責めずに、「〇〇しようね」「〇〇してごらん」と**肯定的に**。
- 🐦 OKサイン・にこっと微笑む・子どもの肩に触れる……などの**動作**で伝えるのも日常生活の中でのフィードバックに有効。

普段の活動をソーシャルスキルトレーニング(SST)の視点で考えると、教室の中で自然にやっていることがたくさんあります。継続していくことで、ソーシャルスキルが身に付いていくのです。



研究協議会で教師力向上をはかろう！

教職員同士の学び合い～専門性を追求した学び～

教師力向上のためには、自己相互研鑽の機会の確保が大きな課題でもあります。特に若い教職員にとっては、学びの機会の確保は大きな課題です。各校でも、校内研修やOJT等による研修が行われています。さらに研究協議会で、他校の教職員の授業や指導技術等から学んだり、積極的に授業や教育実践を公開したり、よりよい授業実践を協同開発したりすることで、双方向に学びを深め、専門性を高めましょう！

研究協議会活動を振り返ってみましょう

- 研究協議会活動に積極的に参加していますか。
- 研究協議会に課題意識をもって参加していますか。
- 研修によって得た知識や指導技術を実践できていますか。



こんな活動もしています



<共催研修会>

研究協議会と教育支援課が専門的で著名な講師を招聘するなどして、共催で研修会を行い、会員だけでなく、会員以外の学びも深めています。(本年度は21講座)

これから受講できる共催研修会 12月5日(水) 中学校数学科教育 講演

<合同研究協議会>

複数の研究協議会が合同で授業研究会等を行って、学びを深めています。



小学校と中学校の合同開催(8部会)

「国語科」, 「社会科」, 「算数科」+ 「数学科」, 「理科」, 「音楽科」, 「図工科」+ 「美術科」, 「体育科」+ 「保健体育科」, 「外国語活動」+ 「英語科」



教科や専門別の異なる協議会の合同開催(2部会)

「小学校家庭科」+ 「(中)家庭科」+ 「食教育」, 「生活科・総合的な学習」+ 「幼年教育」